



新年度が始まりました。学校長挨拶

はじめまして。今年度、箕輪進修高等学校にお世話になることになりました。校長の小林敏明と申します。どうぞよろしくお願い致します。



4月1日に着任し校門を入ると、美しい薄紅色の桜が出迎えてくれました。例年と比べるとだいぶ早い春の訪れに、これも温暖化の影響かと少し不安を覚えたりします。けれども美しいものは美しい。新年度のスタートにふさわしい出迎えに、「さあ始まるぞ」と気持ちも一新です。入学式に似つかわしい桜の花も、例年信州では蕾のことが多いのですが、今年は新入生を大歓迎するようにもの見事に咲き誇る中、4月6日に入学式を挙行することができました。入学式は、折からのコロナ禍の中、昨年に引き続き、保護者と教職員のみで祝う形となりましたが、ⅠⅡⅢ部合わせて105名のフレッシュな新入生を新たな仲間として迎え入れました。これで全校生徒346名となり教職員72名とともに418名で今年度の「みのしん」はスタートしました。期待と不安が入り混じった表情を見せていた新入生も、これから徐々に高校生活に慣れて、生き生きと元気に高校生活を送ってくれることでしょうか。入学式では、「高校入学は大きなチェンジであり、チェンジは可能性を広げるチャンスとなるので、今日から始まる高校生活では、自らの意志で様々な可能性にチャレンジして欲しい」とエールを贈らせていただきました。そして、新入生(みのしん生)に期待することとして「自己の限界を設けず、大いに学ぼう」ということと「分岐点での選択が実践できるように、皆さん自身の判断力を磨いてほしい」ということの2点をあげさせていただきました。これからの社会は変化に富み、そのスピードも速く、またコロナ禍に代表されるように世の中が一変するような出来事が起こることも想定されます。なにが正解なのかわからない中で、何かしらの方向性(答え)を考えていかなければなりません。高校で「学ぶこと」と「判断力を磨くこと」は、これからの時代を生きていくには必要な要素となります。各自がそれぞれの良さや持ち味を活かし、是非多くのことをこの「みのしん」でともに学びましょう。校是「～さあ、自分探しの旅へ～一人ひとりに光をあてて、一人ひとりがかがやく学校」のもと、昨年度に引き続き学校目標を「一人ひとりが違いを認め合いながら、自分のペースで意欲的に学び、社会で自立・活躍できる力(みのしんパワー)を育てます」とし、あらゆる教育活動の基盤としていきます。

我が世の春を咲き誇った桜たちも、葉桜となり緑まぶしい季節への転換を迎えようとしています。子どもから大人への転換の季節を迎える「みのしん生」一人ひとりの成長のために、教職員一丸となって支援体制を整え、保護者の皆様、地元の皆様から愛され、信頼される学校を目指して更なる努力を続けて参ります。今後とも本校の取組みに、変わらぬご支援、ご協力をたまわりますようよろしくお願い申し上げます。



入学おめでとう!

入学式 4/6(火)



桜満開の穏やかな午後、I部クリエイト工学科28名、I部普通科32名、II部普通科33名、III部普通科12名、計105名の新入生が入学しました。

新入生は少し緊張した様子でしたが、新たに始まる高校生活に対する希望や期待を見せてくれました。

箕輪進修高等学校の生徒としての活躍を期待しています!



新入生を温かく迎える生徒会

I・II部生徒会

入学式当日、スーツに身を包んだ生徒会執行部役員達は、新入生・保護者受付、入学式参加のための健康チェックと消毒呼びかけ、駐車



場係など、入学式が滞りなく運ぶお手伝いをしてくれました。



また 4/9(金)

には、生徒会主催による生徒会入会式と新入生歓迎会を開きました。新型コロナウイルス感染予防を考慮し、前半は体育館でセレモニー、後半は各教室で生徒会制作の学校生活紹介 VTR 鑑賞でした。



III部生徒会



同じ 4/9(金)、III部生徒会も、生徒会主催の対面式とオリエンテーションを開きました。

新入生のみなさんが笑顔で高校生活が送れるように、生徒会も応援しています。



箕輪進修高校ホームページ

<https://www.nagano-c.ed.jp/minowa/>
箕輪進修高校の情報が満載。ぜひご覧ください。
学校に対するご意見・ご要望は、トップページの
問い合わせメールに送信してください。

